

## 要 旨

試 験 委 託 者 : 環境省

表 題 : *n*-ヘプタン酸のオオミジンコ (*Daphnia magna*) に対する  
急性遊泳阻害試験

試 験 番 号 : A 0 1 0 4 6 3 - 2

試 験 方 法 :

- 1) 適用ガイドライン: OECD 化学品テストガイドライン No. 202 「ミジンコ類, 急性遊泳阻害試験および繁殖試験」 (1984年)
- 2) 暴露方式: 半止水式 (24時間後に試験液の全量を交換)  
水面をテフロンシートで被覆
- 3) 供試生物: オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4) 暴露期間: 48時間
- 5) 試験濃度: 対照区, 10.0, 18.0, 32.0, 56.0, 100 mg/L  
(設定値) 公比: 1.8
- 6) 試験液量: 100 mL/容器
- 7) 連 数: 4 容器/試験区
- 8) 供試生物数: 20頭/試験区 (5頭/容器)
- 9) 試験温度: 20±1℃
- 10) 照 明: 室内光, 16時間明 (800 lux 以下) / 8時間暗
- 11) 分 析 法: ガスクロマトグラフィー (GC)

## 試験結果：

### 1) 試験液中の被験物質濃度

試験液の分析の結果，測定値の設定値に対する割合が，全て±20%以内であったため，結果の算出には設定値を用いた。

### 2) 24時間暴露後の結果

	(mg/L)	95%信頼区間 (mg/L)
半数遊泳阻害濃度 (EiC50)	72.0	56.0 ~ 100
最大無作用濃度 (NOECi)	32.0	—
100%阻害最低濃度	100	—

### 3) 48時間暴露後の結果

	(mg/L)	95%信頼区間 (mg/L)
半数遊泳阻害濃度 (EiC50)	72.0	56.0 ~ 100
最大無作用濃度 (NOECi)	32.0	—
100%阻害最低濃度	100	—